

2014年中堅・中小企業における「バックアップ関連ツール」の利用実態とユーザ評価

調査設計/分析/執筆: 岩上由高

ノークリサーチ (本社〒120-0034 東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705 : 代表: 伊嶋謙二 TEL: 03-5244-6691
URL: <http://www.norkresearch.co.jp>) は2014年の国内中堅・中小市場における「バックアップ関連ツール」の利用実態とユーザ評価に関する調査を実施し、その集計/分析結果を発表した。本リリースは「2014年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」の「バックアップ関連ツール」カテゴリに関するサンプルおよびダイジェストである。

<中小企業層の機能ニーズを満たすことで、新たにシェアを獲得/拡大できる可能性がある>

- 「Backup Exec」と「arcserve Backup」が上位を堅持する一方で、多種多様な製品も存在
- 「ハードウェア/OSに付属する機能の利用」から「専用の製品/サービス導入」へと進む傾向
- 中小企業層への訴求に関しては、年商10億円以上～20億円未満が有望セグメントの候補
- 低年商帯でもバックアップにおける「整合性」「自動化」「N/W負荷」に関するニーズがある

対象企業: 日本全国/全業種の500億円未満の中堅・中小企業

対象職責: 以下のいずれかの権限を持つ社員

「情報システムの導入や運用/管理の作業を担当している」

「情報システムに関する製品/サービスの選定または決裁の権限を有している」

調査実施時期: 2014年7月～8月

有効回答件数: 1300社(有効回答件数)

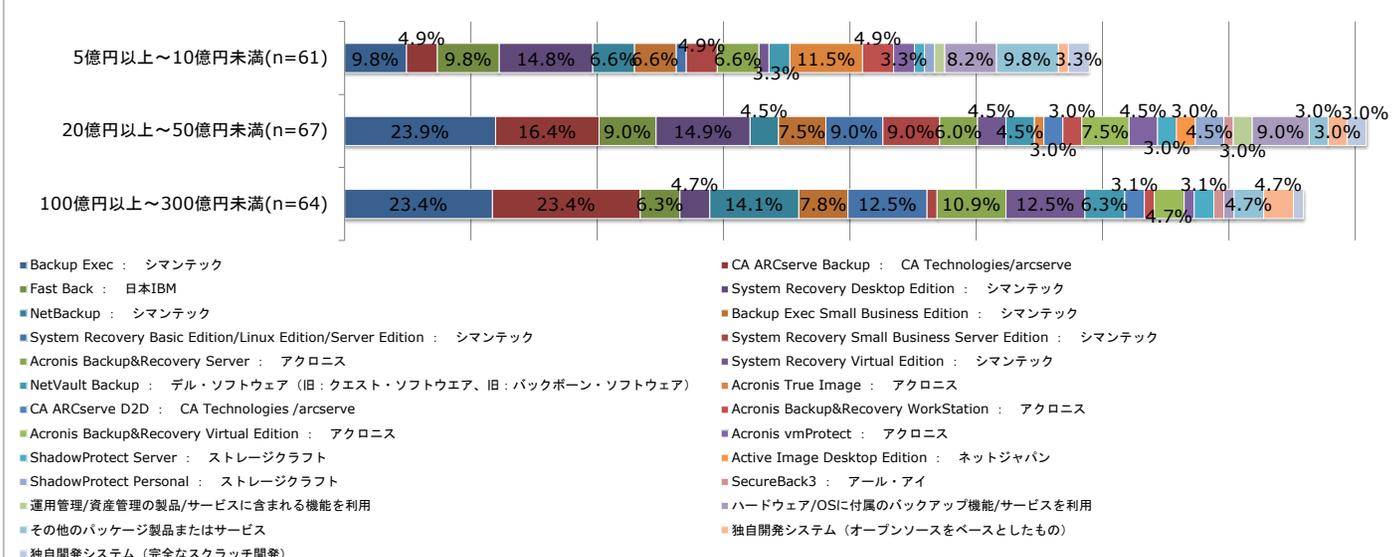
※調査対象の詳しい情報については右記URLを参照 http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2014itapp_rep.pdf

「Backup Exec」と「arcserve Backup」が上位を堅持する一方で、多種多様な製品も存在

以下のグラフはバックアップ関連ツールを導入しているユーザ企業に対し、導入済み製品/サービス(複数回答可)を尋ねた結果のうち、「年商5億円以上～10億円未満」、「年商20億円以上～50億円未満」、「年商100億円以上～300億円未満」の各年商帯においてシェア上位に挙げられた製品/サービスをプロットしたものである。(調査レポートにおいては他の年商帯や業種別、従業員数別、所在地別に集計したデータなども含まれる)

年商500億円未満の中堅・中小企業全体で見た場合には「Backup Exec」と「arcserve Backup」が依然としてシェア上位を堅持しているが、年商規模に応じて多種多様な製品/サービスがシェアを分け合う状況となっている。(「arcserve Backup」については名称変更から調査実施までの期間が3か月未満であることから、ユーザ企業側の認知状況や新名称の普及状況を勘案し、今回の調査実施時点では旧称の「CA ARCserve Backup」を選択肢に掲載している。)

P10-1AS.導入済みの製品/サービス (いくつでも)



「ハードウェア/OSに付属する機能の利用」から「専用の製品/サービス導入」へと進む傾向

前頁で述べた社数ベースの導入済み製品/サービスのシェアは「累積のシェア」である点に注意する必要がある。シェアの値は同じであっても、最近の新規導入が多いのか？それとも過去に導入したユーザ企業が長く使い続けているのか？によって状況は大きく変わってくる。これを知るための観点「導入年」だ。以下のグラフは代表的な製品/サービスなどを導入済みのユーザ企業に対して導入年を尋ねた結果である。項目によってはサンプル件数がやや少ないものもあるが、バックアップ関連ツールとしてユーザ企業がどのような製品/サービスを選ぼうとしているのか？の方向性を知る上では役立つデータである。

※ここでの「導入年」とは製品/サービスの利用を開始した年を指す。同一の製品/サービスを更新/バージョンアップしながら継続利用している場合には最初のバージョンを導入した年となる。

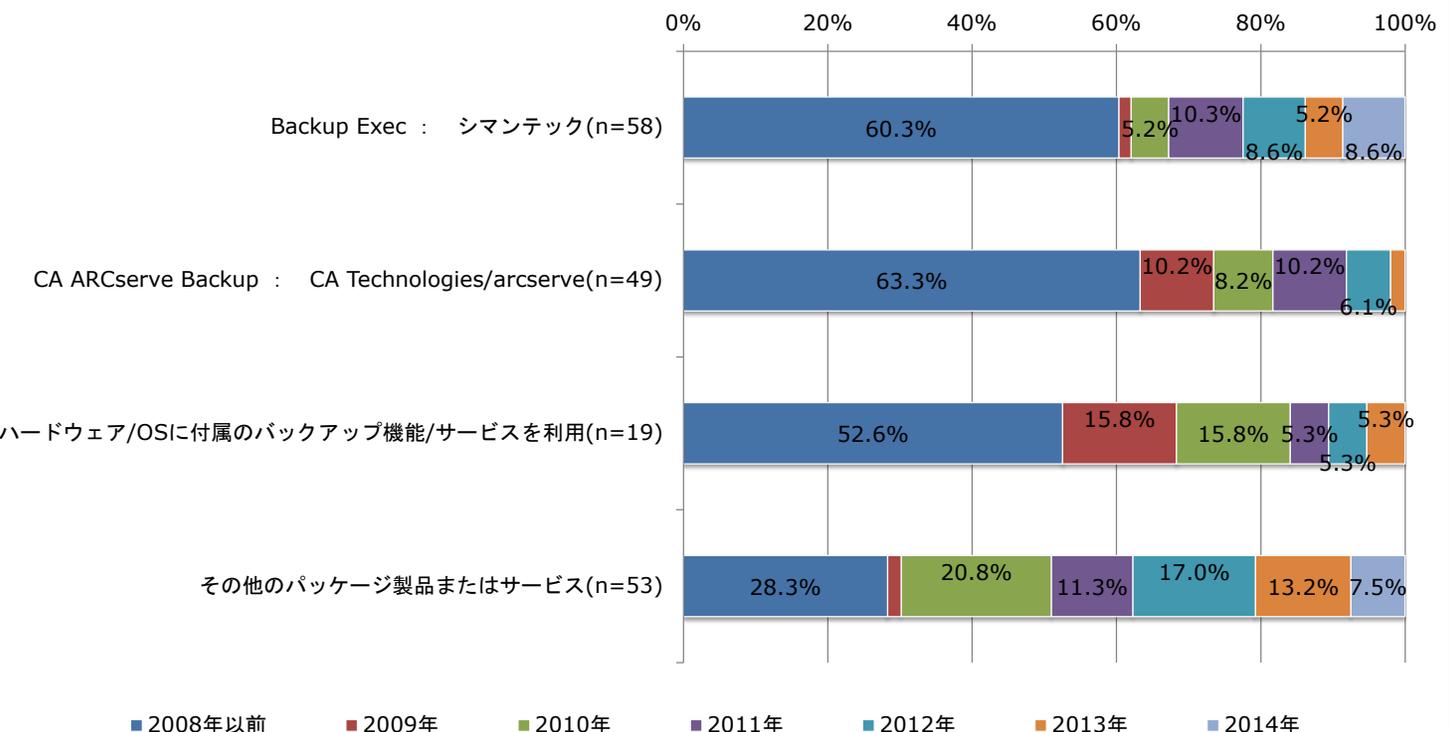
2012年以降の導入(比較的最近の導入)が占める割合という観点では「Backup Exec」の方が「arcserve Backup」よりもやや高くなっており、シェア上位の2製品の間でも傾向に若干の違いがあることがわかる。

また、「ハードウェア/OSに付属のバックアップ機能/サービスを利用」はサンプル件数自体が少ない(つまり、この形態を選択しているユーザ企業数が少ない)ことに加えて、2012年以降の導入割合が低い。一方で、「その他のパッケージ製品またはサービス」は高くなっている。このことから、今後の中堅・中小企業におけるバックアップ関連ツール導入はハードウェアやOSに付属したツールで済ませる状態から製品/サービスへの導入へと進み、多種多様な製品/サービスへとシェアが分散していく傾向となる可能性が考えられる。

本リリースの元となる調査レポートでは下記に挙げた以外の製品/サービスに関する導入年に加え、バックアップ関連ツールの導入経緯(導入の理由や背景)、導入時のシステム形態(管理サーバを社内に設置する形態か、それともクラウド形態のバックアップサービスを利用しているのかなど)といった様々な集計データが含まれている。どのような設問項目があるか？集計データの書式はどのようなものか？などについては以下のURLに掲載されたレポート案内から確認することができる。

http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2014itapp_rep.pdf

P10-2.最も主要な製品/サービスの導入年



2014年版 中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート(ノークリサーチ)

中小企業層への訴求に関しては、年商10億円以上～20億円未満が有望セグメントの候補

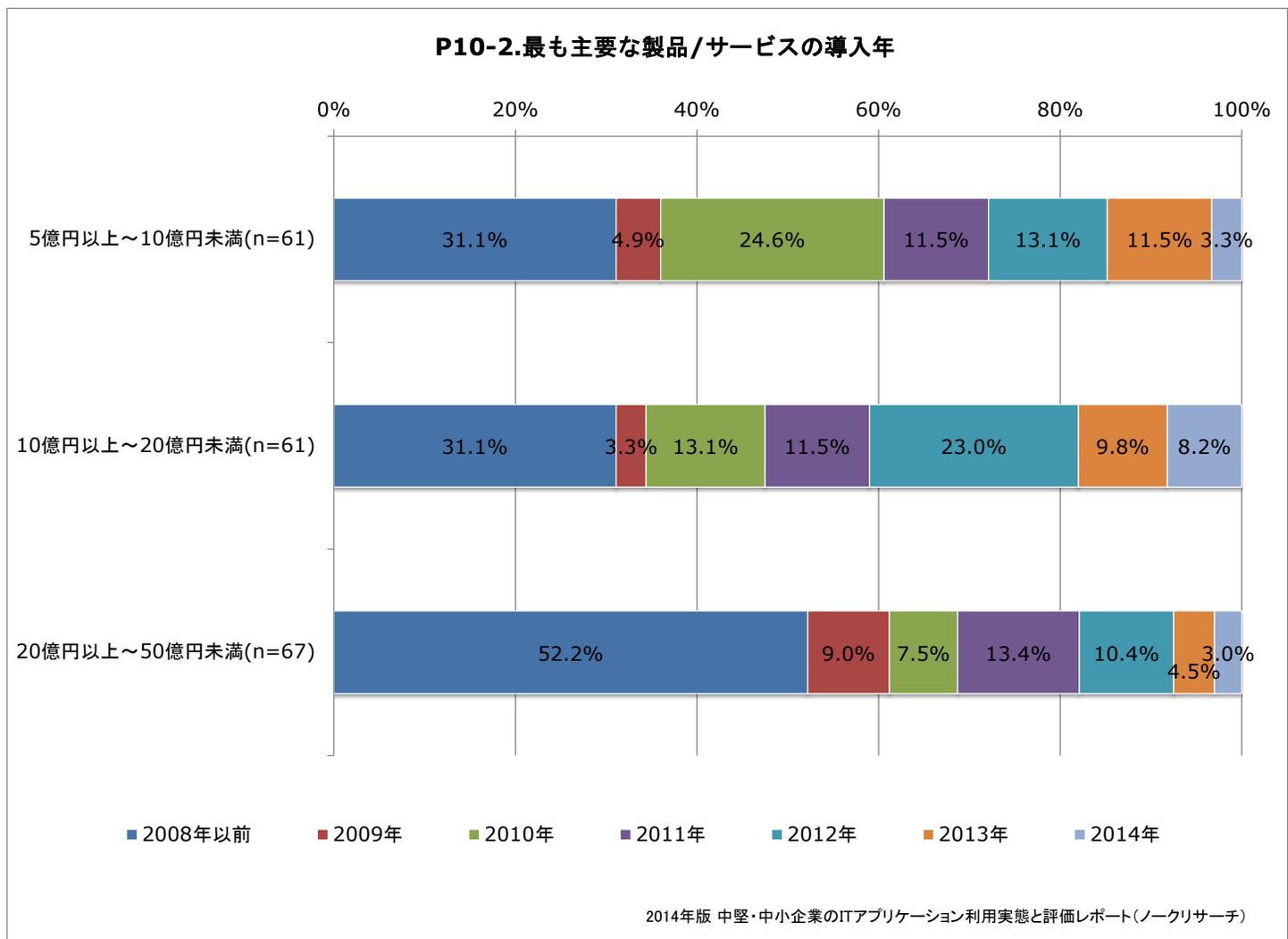
バックアップ関連ツールにおける今後のシェア獲得/拡大に取り組む上で重要となるのが「有望な企業セグメント」の探索である。

本リリースの元となる調査レポートにおいては年商別および業種別の「導入率」や「導入年」といった観点から、今後有望と考えられる企業セグメントについて集計/分析を行っている。

以下のグラフは製品/サービスの導入年を尋ねた結果を年商別に集計のうち、中小企業層に該当する年商帯(年商5億円以上～10億円未満、年商10億円以上～20億円未満、年商20億円以上～50億円未満)に関するデータをプロットしたものだ。

2012年以降の導入割合が高い(最近の導入が多い)年商帯としては年商10億円以上～20億円未満が挙げられる。あくまで指標の1つではあるがバックアップ製品/サービスを開発/販売しているIT企業が中小企業向けの訴求に取り組む際は年商10億円以上～20億円未満が比較的有望な企業セグメントとなってくる。

ただし、上記はあくまで「中小企業層に限定した上で年商別に見た導入年」という限られた1つの観点で見た場合の結果である点に注意する必要がある。本リリースの元となる調査レポートでは「年商別の導入率」「年商別の導入年」「業種別の導入率」「業種別の導入年」といった4つの観点から全年商/全業種を俯瞰することで、有望な企業セグメントを探索している。



低年商帯でもバックアップにおける「整合性」「自動化」「N/W負荷」に関するニーズがある

本リリースの元となる調査レポートでは13種類の業務アプリケーションのそれぞれについて、「ユーザ企業が満足している機能は何であり、今後求めている機能は何であるか？」や「ユーザ企業が抱えている課題は何であり、その解決策としてどのような機能が求められるか？」を詳しく尋ねている。その際の設定内容は当然ながら13種類の業務アプリケーションですべて異なる。

以下のグラフは有望な年商セグメントである年商10億円以上～20億円未満の企業層に対し、製品/サービスが持つべき機能や特徴を尋ねた結果である。(調査レポートにおいて集計/分析の対象となる評価項目数は20以上に及ぶが、ここではそれらの中の一部分についてのみプロットしている)

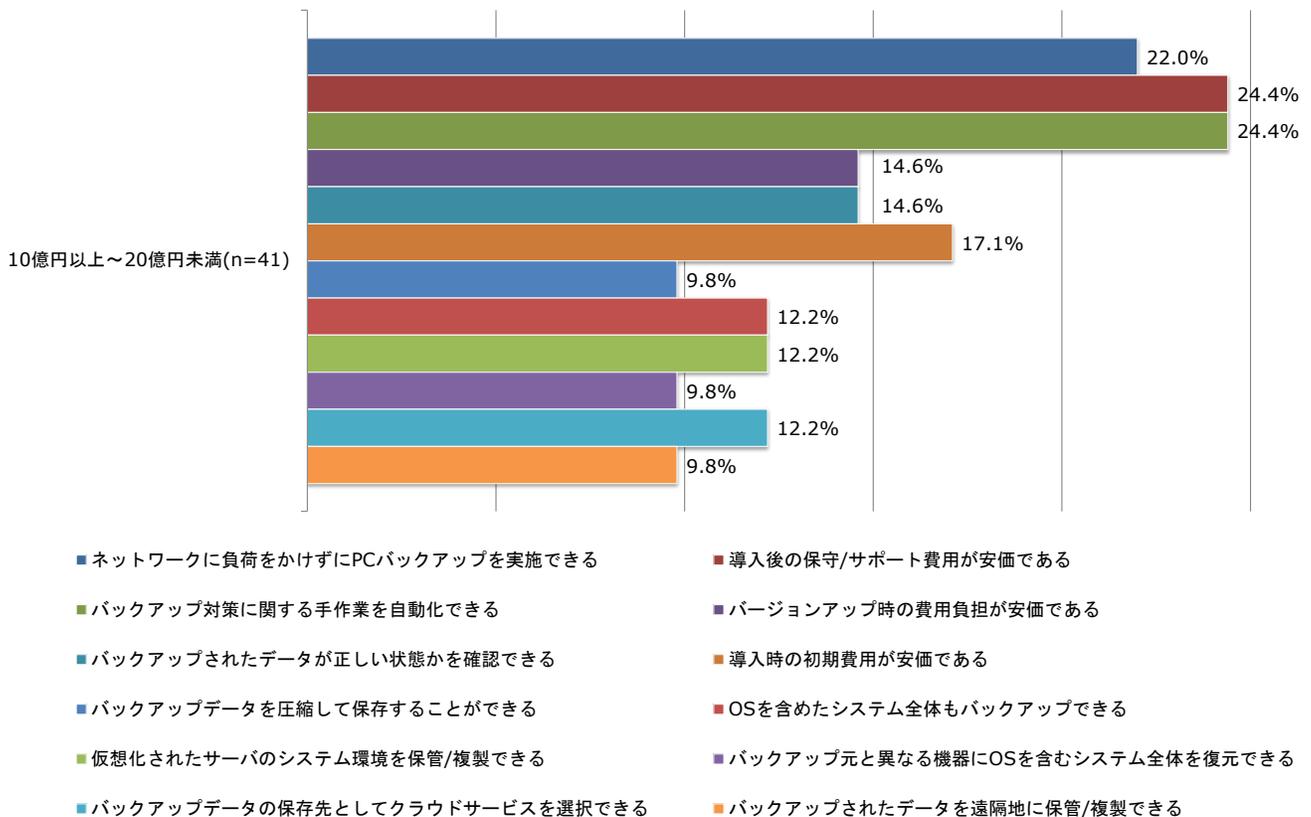
「導入後の保守/サポート費用が安価である」、「バージョンアップ時の費用負担が安価である」、「導入時の初期費用が安価である」などといった費用面の項目はバックアップ以外のアプリケーションにおいても多く挙げられる傾向にある。それ以外の項目としては以下のようなものが比較的多く挙げられている。

「バックアップ対策に関する手作業を自動化できる」	24.4%
「ネットワークに負荷をかけずにPCバックアップを実施できる」	22.0%
「バックアップされたデータが正しい状態かを確認できる」	14.6%

つまり、年商の低い企業であっても「バックアップ時のネットワーク負荷」「バックアップイメージの整合性」「バックアップの作業効率」といった点を重視しており、低年商帯向けの製品/サービスについてもバックアップ処理そのものについて改善していく余地がまだあるということになる。

本リリースの元となる調査レポートには年商10億円以上～20億円未満以外の年商帯や業種別の観点で「製品/サービスが持つべき機能や特徴は何か？」を尋ねた結果の集計データが含まれる。

P10-9S.最も重要な課題の解決策として製品/サービスが持つべき機能や特徴 (いくつでも)



調査実施時に選択肢として挙げた製品/サービス一覧

本調査ではバックアップを「PCやサーバのデータを保存/保管するアプリケーション」と定義している。

この定義に基づき、アンケートの回答者はセキュリティを含めた13種類のアプリケーションカテゴリから導入済みのものを選び、選ばれたカテゴリの中からさらに導入済みの製品/サービス名を選択する。

また、以下の選択肢は過去の調査結果に基づいて、自由回答の中から多く挙げられたものは選択肢として新たに取り上げ、逆に一定期間以上シェア数値がないものは割愛するといった形で年毎に調整を行っている。

「arcserve Backup」については名称変更から調査実施までの期間が3か月未満であることから、ユーザ企業側の認知状況や新名称の普及状況を勘案し、今回の調査実施時点では旧称の「CA ARCserve Backup」を選択肢に掲載している。

Backup Exec	シマンテック
CA ARCserve Backup	CA Technologies/arcserve
Fast Back	日本IBM
System Recovery Desktop Edition	シマンテック
NetBackup	シマンテック
Backup Exec Small Business Edition	シマンテック
System Recovery Basic Edition/Linux Edition/Server Edition	シマンテック
System Recovery Small Business Server Edition	シマンテック
Acronis Backup&Recovery Server	アクロニス
System Recovery Virtual Edition	シマンテック
NetVault Backup	デル・ソフトウェア
Acronis True Image	アクロニス
CA ARCserve D2D	CA Technologies /arcserve
Acronis Backup&Recovery WorkStation	アクロニス
Acronis Backup&Recovery Virtual Edition	アクロニス
Acronis vmProtect	アクロニス
ShadowProtect Server	ストレージクラフト
Active Image Desktop Edition	ネットジャパン
ShadowProtect Personal	ストレージクラフト
SecureBack3	アール・アイ
運用管理/資産管理の製品/サービスに含まれる機能を利用	
ハードウェア/OSに付属のバックアップ機能/サービスを利用	
その他のパッケージ製品またはサービス	
独自開発システム(オープンソースをベースとしたもの)	
独自開発システム(完全なスクラッチ開発)	

本リリースの元となっている「2014年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」の詳細は下記URLを参照
http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2014itapp_rep.pdf

本データの無断引用・転載を禁じます。引用・転載をご希望の場合は下記をご参照の上、担当窓口にお問い合わせください。
 引用・転載のポリシー: <http://www.norkresearch.co.jp/policy/index.html>

当調査データに関するお問い合わせ

NORKRESEARCH

株式会社 ノークリサーチ 担当: 岩上 由高
 東京都足立区千住1-4-1 東京芸術センター1705
 TEL 03-5244-6691 FAX 03-5244-6692
inform@norkresearch.co.jp
www.norkresearch.co.jp